

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
発達心理学	宮崎 隆穂	1	2	必修	講義	臨床心理士、公認心理師として臨床活動（主に心療内科・教育領域）	発達障害の早期発見の重要性
ベーシック英語Ⅰ	川崎 眞理子	1	1	必修	講義	企業通訳・翻訳、在宅翻訳	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う。
中国語	白 雪晴	1、4	2	選択	講義	十数年間、新潟県内の中国語講師や大学で中国語講座の講師経験がある。	幅広い年齢層の中国語学習者に接したことで、大学生にとって一番良い教授法の模索ができた。学生を主体にし、自主的な勉強ができるようにする。自己紹介を含む完璧な発音練習を一人ひとりに定着させる。また、学生が基礎を理解した上、短い文を作ってもらうため繰り返し練習をさせる。
基礎ゼミナール	各担当教員	1	1	必修	演習	各教員はそれぞれの専門分野において、教育・研究の実務経験を有する。	本科目は実務経験のある教員と実務経験のない教員によるオムニバス授業である。実務経験のある教員からは実務経験に則した知識等を得ることができる。視座を高め学際的研究心を育む授業である。
地域活動論	平澤 則子	1	1	選択	講義	保健師として保健所勤務の経験を有する。	実務経験を活かして地域の健康課題の明確化、課題解決のための地域組織活動・ボランティア活動など実践的に教育する科目である。
チーム医療論	青柳 直樹	1	1	必修	講義	看護師、看護管理者として病院勤務の実務経験を有する。	看護師と看護管理者としての実務経験を活かし、病院や地域におけるチーム医療、チームでのアプローチについて学習する。多職種連携によるチーム医療の目的や方法をはじめ、事例を通して看護職の役割について学習する科目である。
看護学概論	樋本 まゆみ	1	2	必修	講義	看護師・看護管理者・看護教育の経験がある。	看護師としての臨床経験と災害看護、国際看護などの視点で視察や海外支援活動の経験もあるためそのことも含め講義を行う。
基礎看護援助論Ⅰ	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ	1	1	必修	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、看護実践の構造と看護技術の基礎的な概念及び療養上の世話における基本的な看護技術について指導する科目である。
基礎看護援助論Ⅱ	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ	1	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、療養上の世話における基本的な看護技術について実践的に教育する科目である。
基礎看護学実習Ⅰ	大崎 美奈子、大平 富美、田口 めぐみ、樋本 まゆみ	1	1	必修	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、病院の組織・機能や看護師の役割について実践的に教育する科目である。
地域包括ケア論	平澤 則子、永谷 智恵、角山 裕美子、板山 稔	1	1	必修	講義	保健所保健師、病院の看護師の経験を有する。	実務経験を活かして、臨床から地域まで生活に視点を置いて対象者を理解することの意義や地域包括ケアの概念について実践的に教育する科目である。
長岡地域生活者交流実習	各担当教員	1	1	必修	実習	看護師として、病院勤務の実務経験を有する。	病院の実務経験を活かし、地域で継続して暮らし続けていくための看護職の役割について教授する。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
ベーシック英語Ⅱ	川崎 眞理子	1	1	必修	講義	企業通訳・翻訳、在宅翻訳	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う。
日本国憲法	三浦 三蔵	1	2	必修	講義	弁護士業務(訴訟等の対応)	実例を通じて憲法を学ぶ。その際、弁護士業務にて得た経験を盛り込み、より現実感のあるものとする。
福祉と保障	佐藤 和也	1	2	選択	講義	社会福祉士として相談者の支援援助の実務経験を有する。	実務経験を活かし、健康で文化的な生活を支える社会保障の三つのセーフティネットの基礎を学ぶとともに、医療と福祉をつなぐ看護職の役割を実践的に理解する科目である。
病理病態学	高塚 尚和	1	1	必修	講義	法医鑑定（解剖）の業務に24年9ヶ月間従事し、現在継続中。病理診断及び病理解剖に5年6ヶ月間従事。	病理・病態の理解には、実際の病変や病理組織像を知ることが重要であることから、これまでに経験した症例の生の写真等を供覧し、理解の向上に努めている。
看護過程	樋本 まゆみ、田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子	1	2	必修	講義	看護師実践経験がある。	臨床現場においても看護過程の展開を用いて看護問題の解決を実施している。
基礎看護援助論Ⅲ	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ	1	1	必修	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かし、フィジカルアセスメントの知識や技術について実践的に教育する科目である。
基礎看護援助論Ⅳ	田口 めぐみ、大平 富美、大崎 美奈子、樋本 まゆみ	1	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かし、フィジカルアセスメントの知識や技術について実践的に教育する科目である。
成人看護学概論	近藤 ふさえ	1、2	1	必修	講義	看護師として人工透析室、整形外科病棟で看護実践経験、看護系大学教員として成人看護学の講義および慢性期看護実習の指導経験を有する。	人工透析室、整形外科病棟での臨床経験を有する。また看護系大学教員として成人看護学の講義および慢性期看護実習の指導経験を有する。臨地実習で出会った事例を紹介しながら授業を行う。
精神看護学概論	板山 稔	1、2	1	必修	講義	看護師として病院等に16年間勤務	精神科病棟、精神科デイケア、精神科訪問看護での臨床経験を活かし、メンタルヘルスおよび精神看護における基礎的知識を教示する。
地域・在宅看護学概論	菅原 京子、田辺 生子	1、2	1	必修	講義	保健師として、地域での勤務経験を有する。	在宅における難病療養者等への在宅療養者支援を行政等で行った経験を踏まえ、在宅療養における看護の実際等について、具体例を交えて教授する。
薬理学	佐合 絵里	2	1	必修	講義	病院薬剤師として30年以上実務に就く。	病院で実際に処方されている薬剤の薬理、副作用症例を伝えることができる。
疾病治療論Ⅰ(循環器)	伊藤 正洋	2	1	必修	講義	臨床医として30年の臨床診療経験を有する。	診療経験を活かし、基本的な循環器領域の知識を教育する科目である。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
疾病治療論Ⅱ(呼吸器・消化器)	沼田 由夏、高村 昌昭	2	1	必修	講義	〔呼吸器〕呼吸器内科医として、呼吸器疾患および喫煙関連疾患の診療と禁煙支援に従事してきた。 〔消化器〕医師として病院勤務で消化器診療の実務経験を有する。	〔呼吸器〕呼吸器内科医としての実務経験を基に、呼吸器疾患の基礎知識とともに、喫煙関連疾患の理解、予防および禁煙支援について、看護実践につながる形で教授する。 〔消化器〕実務経験を活かして、消化器疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。
疾病治療論Ⅲ（内分泌・代謝、腎）	八幡 和明, 中野 正明	2	1	必修	講義	〔内分泌〕医師として病院勤務の実務経験を有する。 〔腎〕新潟大学医学部保健学科にて、15年以上看護学生に対して腎臓病に関する講義を担当した。	〔内分泌〕実務経験を活かして、内分泌・代謝・腎疾患の基礎的な知識や診療について、医学的観点から教示する。〔腎〕上記の実務経験を踏まえて、より理解しやすい講義資料を作成して、学生に提供する。さらに、学生が講義に集中するように、毎回講義の後にミニテストを実施する。
公衆衛生学	鈴木 翼	2	2	必修	講義	医師（臨床医、産業医）としての実務経験を有する。	実務経験を生かして、公衆衛生の基本的知識が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。
基礎看護技術演習Ⅲ	大崎 美奈子、田口 めぐみ、 大平 富美、樋本 まゆみ	2	2	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を生かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について実践的に教育する科目である。
成人看護援助論Ⅰ	広井 貴子	2	2	必修	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、周手術期における看護の基本的な看護術について実務的に教育する科目である。
成人看護援助論Ⅱ	目黒 優子	2	2	必修	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
老年看護学概論	角山 裕美子	2	1	必修	講義	看護師として病院勤務の経験を有する。	病院勤務での高齢患者への看護経験を基に、老年期の特徴や主な健康課題などを事例を交え説明し、老年看護の基礎的視点を育成する。
小児看護学概論	永谷 智恵	2	1	必修	講義	看護師として病院の実務経験を有する。	実務経験を活かし、小児看護の役割・責務を学ぶうえで最も基本となる子どもを取り巻く社会の理解、子どもの成長・発達と養護、子どもの人権について教授する。
母性看護学概論	小川 久貴子	2	1	必修	講義	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。	学生の理解が進むよう看護師および助産師としての臨床経験を基にした具体的なケア場面を提示しながら、母性看護やリプロダクティブヘルスに関して基盤となる概念および基礎的知識を教育する科目である。
公衆衛生看護活動論Ⅰ	渡邊 路子、平澤 則子、 菅原 京子、田辺 生子、 山崎 節子	2	2	選択	講義	保健師として行政および産業での実務経験を有する。	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
災害看護論	春川 一樹	2	1	必修	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。 DMAT隊員として災害派遣の実務経験を有する。	実務経験を活かして、災害保健医療体制の原則や災害看護の基礎的知識を教育する科目である。
看護に活かすコミュニケーション英語	川崎 真理子	2	2	必修	講義	企業翻訳・技術、在宅翻訳	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う。
疾病治療論Ⅳ(造血器・運動器)	山田 修、星野 正	2	1	必修	講義	[造血器] 血液内科学を中心とした臨床に50年関わってきた。 [運動器] 医師として病院勤務の実務経験を有する。	[造血器] 臨床現場で自ら考え行動する看護師として活躍できるよう、難しい内容を解り易く楽しく実例を交えて講義する。 [運動器] 実務経験から得られた知識、技術を通して、看護に必要な基礎を確立できるように教育する。
疾病治療論Ⅴ(脳神経・精神)	笠井 英世、渡部 和成	2	1	必修	講義	[脳神経] 脳神経疾患患者の診療に従事し、問診・診断・薬物療法を中心とした内科的治療に関する経験を有する。 [精神] 精神科医師歴49年。精神科専門医、指導医。精神保健指定医。	[脳神経]臨床で培った脳神経疾患の症状評価、診断過程、薬物療法の知識を基に、看護に必要な病態理解や治療方針の背景を講義で解説し、実践的理解を促す。 [精神]時代の変化に伴う病名変更、診断方法の変化などを理解させ、実臨床の中での精神医療の状況もビビッドに感じ取れるように講義する。
疾病治療論Ⅵ(婦人科、免疫・アレルギー・膠原病)	長谷川 功、中野 正明	2	1	必修	講義	[婦人科]新潟大学医歯学総合病院、秋田赤十字病院、済生会新潟病院等で計42年間産婦人科医療に従事 [免疫]新潟大学医学部保健学科にて、15年以上看護学生に対してリウマチ・膠原病に関する講義を担当	[婦人科] 新潟大学医学部産婦人科助教、講師を歴任 新潟県医師会、新潟県助産師会、日本母乳の会等で講演 [免疫] 上記の実務経験を踏まえて、より理解しやすい講義資料を作成して、学生に提供する。さらに、学生が講義に集中するように、毎回講義の後にミニテストを実施する。
保健統計学	鈴木 翼	2	2	必修	講義	医師(臨床医、産業医)としての実務経験を有する。	実務経験を生かして、統計学の知識・考え方が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。
疫学	鈴木 翼	2	2	選択	講義	医師(臨床医、産業医)としての実務経験を有する。	実務経験を生かして、疫学の知識・考え方が現場での実践にどのように活かされるかを教示する。
基礎看護学実習Ⅱ	大平 富美、樋本 まゆみ、大崎 美奈子、田口 めぐみ	2	2	必修	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、病院の組織・機能や看護師の役割について実践的に教育する科目である。
成人看護援助論Ⅲ	広井 貴子、目黒 優子	2	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する	実務経験を活かして、基本的な看護技術や看護援助過程について実務的に教育する科目である。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
老年看護援助論Ⅰ	青柳 直樹、角山 裕美子、 多田 健一	2	2	必修	講義	科目の各担当教員が看護師としての病院勤務を有する。	各担当教員が高齢者看護の実務経験を活かした授業を展開し、設定した授業の到達目標に向け各担当教員がオムニバス形式で担当する。高齢者の加齢に伴う症候、高齢者特有の疾患とその看護について知識や技術を学習する科目であり、また医療や介護場面における高齢者やその家族の倫理的課題を考える科目である。
小児看護援助論Ⅰ	沼野 博子、永谷 智恵、 伊藤 文子、船岡 未恵	2	2	必修	講義	看護師としての病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、病気・障がいのある子どもと家族の特徴をふまえ、療養環境や病期、災害など状況に応じた看護と、子ども・家族中心のケアを具体的に学ぶ科目である。
母性看護援助論Ⅰ	森 美由紀、小川 久貴子、 佐藤 初美	2	2	必修	講義	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。	学生の理解が進むよう看護師および助産師としての臨床経験を基にした具体的なケア場면을提示しながら、母性看護学における基礎的知識および援助方法を実践的に教育する科目である。
精神看護援助論Ⅰ	板山 稔、藤田 勇、 成田 みぎわ	2	2	必修	講義	看護師として精神科病棟の実務経験を有する。	実務経験を活かして、精神医療や地域精神保健福祉についての講義・演習を行い、看護実践力を教育する。
地域・在宅看護援助論Ⅰ	田辺 生子、山崎 節子、 菅原 京子	2	2	必修	講義	看護職として、地域での勤務経験を有する	在宅における難病療養者等への在宅療養者支援を行政等で行った経験を踏まえ、在宅療養における看護の実際等について、具体例を交えて教授する。
公衆衛生看護活動論Ⅱ	渡邊 路子、平澤 則子、 駒形 三和子	2	2	選択	講義	保健師として、地域保健、産業保健勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、健康危機管理、感染症予防、産業保健、学校保健における保健師の役割を教授する。
公衆衛生看護支援技術Ⅰ	駒形 三和子、平澤 則子、 渡邊 路子、菅原 京子、 田辺 生子、山崎 節子	2	2	選択	講義	保健師として行政および産業での実務経験を有する。	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
医療英語	川崎 眞理子	3	1	選択	講義	企業通訳・翻訳、在宅翻訳	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う。
保健医療福祉行政論	五十嵐 直子	3	2	必修	講義	保健師として保健所での勤務経験32年、県庁での行政経験6年（課長補佐3年、課長3年）	保健所及び県庁での経験に基づき保健医療福祉行政についての講義を実施
看護倫理	樋本 まゆみ	3	1	必修	講義	看護師（救命救急センター・脳神経外科）、 看護管理者、医療安全管理者	救命救急センター看護師の時に、特に移植に関わる問題や生死にかかわる問題において、倫理的葛藤を抱えてきた。その打開策として、看護倫理を学ぶことが重要であった。そのことも含め事例を基に解説する。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
老年看護援助論Ⅱ	多田 健一、角山 裕美子、 青柳 直樹	3	1	必修	演習	各担当教員が看護師としての病院勤務経験を有する。	担当教員が高齢者看護の実務経験を活かした授業を展開する。高齢者の加齢に伴う変化、高齢者特有の疾患とその看護について2年次までに習得した知識や技術をもとに、今後の領域別看護実習で実際に高齢者に看護実践する能力を習得するための演習科目である。
小児看護援助論Ⅱ	伊藤 文子、沼野 博子、 船岡 未恵、永谷 智恵	3	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を生かして、小児と家族への基本的な観察やかかわり方、フィジカルアセスメントの技術、看護過程の展開について等、実践的に教育する科目である。
母性看護援助論Ⅱ	森 美由紀、小川 久貴子、 佐藤 初美	3	1	必修	演習	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。	学生の理解が進むよう看護師および助産師としての臨床経験を基にして、母性看護学における援助方法および援助技術を実践的に教育する科目である。
精神看護援助論Ⅱ	藤田 勇、板山 稔、 成田 みぎわ	3	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、精神看護について講義・演習を通し、実践的に教育する科目である。
地域・在宅看護援助論Ⅱ	山崎 節子、菅原 京子、 田辺 生子	3	1	必修	演習	看護師として地域・在宅看護学に関連する実務経験を有する。	実務経験を活かして、訪問看護ステーションでの地域・在宅看護学実習へ向けた看護の展開と看護ケアについての教育を行う。
公衆衛生看護支援技術Ⅱ	駒形 三和子、平澤 則子、 渡邊 路子、菅原 京子、 田辺 生子、山崎 節子	3	2	選択	講義	保健師として行政および産業での実務経験を有する。	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
地域診断論	駒形 三和子、平澤 則子、 渡邊 路子、菅原 京子、 田辺 生子	3	1	選択	講義	保健師として行政および産業での実務経験を有する。	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
健康教育論	渡邊 路子、駒形 三和子、 田辺 生子	3	1	選択	講義	保健師として、健康教育の実務経験を有している。	実務経験を活かして、対象者が主体的に行動変容し自己管理能力を高めるための健康教育について教授する科目です。
災害看護活動論Ⅰ	春川 一樹	3	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。 DMAT隊員として災害派遣の実務経験を有する。	実務経験を活かして、災害保健医療体制の原則や災害看護について教育する科目である。
看護学研究法	板山 稔、近藤 ふさえ	3	2	必修	講義	看護師として病院等に16年間勤務。臨床での研究を継続するとともに、院内の研究推進委員会に所属し、研修講師や研究指導に従事した。	研究における基礎的知識の教示と研究計画書作成における実践的な指導を行う。看護研究における文献検索、文献レビュー、文献クリティークを踏まえて、研究デザインに応じたデータ収集方法や分析手法、倫理的配慮等について指導する。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
家族看護論	斎藤 まさ子	3	2	選択	講義	①精神看護師として、家族をシステムとして捉え、患者だけでなく家族全体を視野に入れた看護を提供してきた。②ひきこもり家族支援を16年間実施してきた。また、研究で家族を問い続けてきた。	家族をシステムとして捉え、患者だけでなく家族成員個々が、何を体験しているのかを掘り下げて考えることを大切にしている。自分の持つ家族像で対象をみるのではなく、対象の実態をありのまま捉え、迷いながら目標に到達できることをねらいとする。
成人看護学実習Ⅰ	広井 貴子、目黒 優子、 近藤 ふさえ	3	2	必修	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について実践的に教育する科目である。
成人看護学実習Ⅱ	目黒 優子、近藤 ふさえ、 広井 貴子	3	3	必修	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
老年看護学実習Ⅰ	青柳 直樹、角山 裕美子、 多田 健一	3	2	必修	実習	科目の各担当教員が看護師としての病院勤務を有する。	各担当教員が高齢者看護の実務経験を活かし、授業の到達目標に則し実習指導を行う。施設で生活する高齢者を受け持ち、目標志向型思考の視点で健康課題を抽出し看護過程を展開する科目である。加齢に伴う症候、高齢者特有の疾患とその看護について、学んだ知識や技術を統合して高齢者看護を実践する科目である。
老年看護学実習Ⅱ	多田 健一、角山 裕美子、 青柳 直樹	3	2	必修	実習	各担当教員が看護師としての病院勤務経験を有する。	各担当教員が高齢者看護の実務経験を活かし、授業の到達目標に則した指導を行う。地域で生活する高齢者や地域包括ケアについて理解し、高齢者が地域で暮らし続けるためのケアのあり方を学生自身が考察できるように指導していく。
小児看護学実習	永谷 智恵、船岡 未恵、 伊藤 文子、沼野 博子	3	2	必修	実習	看護師としての病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を生かして、臨床などにおいて患児・家族に必要とされる看護を実践的に教育する。
母性看護学実習	佐藤 初美、小川 久貴子、 森 美由紀	3	2	必修	実習	看護師および助産師として病院勤務の実務経験を有する。	臨床指導者と協働しながら、助産師としての勤務経験（病棟・外来）を基に妊娠期～分娩・産褥新生児期までの対象理解と必要な援助への助言・実施の支援を通して看護過程の一連のプロセスを教育する科目である。
精神看護学実習	藤田 勇、板山 稔、 成田 みぎわ	3	2	必修	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、精神看護について実践的に教育する科目である。
地域・在宅看護学実習	山崎 節子、菅原 京子、 田辺 生子、平澤 則子、 渡邊 路子、駒形 三和子	3	2	必修	実習	看護職として地域・在宅看護学に係る地域での実務経験を有する。	地域・在宅看護において求められる専門的な知識をもって、臨地実習者と協働しながら、学生の誠実さと柔軟さのある看護の修得をサポートします。
英文講読	川崎 眞理子	4	1	選択	講義	企業通訳・翻訳、在宅翻訳	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
キャリアデザインⅡ	藤田 勇	4	1	選択	講義	看護師として病院勤務及び大学教員の実務経験を有する。	実務経験を活かして、キャリアデザインについて具体的に教育する科目である。
成人看護学実習Ⅲ	広井 貴子、目黒 優子、 近藤 ふさえ	4	1	必修	実習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について実践的に教育する科目である。
公衆衛生看護活動展開論実習	渡邊 路子、平澤 則子、 駒形 三和子、菅原 京子、 山崎 節子	4	3	選択	実習	保健師として、行政、産業等の実務経験を有する。	実務経験を活かして、公衆衛生看護活動における保健師の役割を実践的に教育する科目である。
個人・家族・集団・組織の支援実習	駒形 三和子、平澤 則子、 渡邊 路子、菅原 京子、 田辺 生子、山崎 節子	4	2	選択	実習	保健師として行政および産業での実務経験を有する。	行政及び産業における公衆衛生看護活動の実務経験を踏まえた講義を行う。
看護管理論	樋本 まゆみ	4	1	必修	講義	看護管理者、認定看護管理者、日本看護協会認定看護管理者教育（ファースト・セカンド・サード）	臨床現場で、看護師長、看護副部長の実践経験があり、また、看護管理者に対しても看護管理者教育を実践している。そのため、実践経験を活かし、看護管理の基礎をわかりやすく教えている。
国際看護論	中村 勝	4	1	選択	講義	国際協力機構が実施したスリランカにおける公衆衛生活動、ベトナムの医療事情に関する長期実態調査、中国河北煤炭医学院での講義経験などがある。	開発途上国での活動経験を活かし、伝統医療の紹介や感染症と医療現場の対応、先進国の医療事情との差異などについて現場感覚を大切にしながら現在状況とグローバルヘルスの課題について講義する。
統合実践演習	目黒 優子、沼野 博子、 藤田 勇、佐藤 初美、 多田 健一	4	1	必修	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	実務経験を活かして、基本的な診療の補助技術や看護技術について、実践的に教育する科目である。
統合実践実習	各担当教員	4	2	必修	実習	看護師として病院勤務や施設等の実務経験を有する教員が担当する。	実務経験を活かして、看護における統合的な実践能力を教育する。
看護課題研究	各担当教員	4	2	必修	演習	各教員はそれぞれの専門分野において、教育・研究の実務経験を有する。	指導教員は基礎教育、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、地域・在宅看護学領域における看護実践と教育の実務経験を有し、その経験を活かし研究計画書作成から論文作成・口頭発表までのプロセスの指導にあたる。
リハビリテーション看護	近藤 ふさえ、沼野 博子	4	1	選択	講義	近藤はリハビリテーション病棟における臨地実習指導をとおして、回復期から在宅移行期の患者・家族への看護ケアを経験している。	臨地実習指導で学生が受け持つ患者（特に脳血管疾患・骨折）への看護実践事例を紹介しながら授業を展開する。
へき地看護論	平澤 則子	4	1	選択	講義	保健師として保健所勤務の経験を有する。	実務経験を活かして公衆衛生看護の技術や保健福祉医療行政の事業化・施策化技術を用いて実践的に教育する科目である。

2026年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	担当教員	配当 学年	単位数	必修/選択	授業方法	実務経験内容	実務経験を活かした教育内容
リーダーシップ論	樋本 まゆみ	4	1	選択	演習	看護師・看護管理者、救命救急士の免許、救命救急センター、医療安全管理者として、リーダーシップをとってきた。	看護師として、リーダーシップをとることの重要性と対人関係スキルをみがくこと。リーダーシップ理論をつかいながら講義を行う。
経済と政策	佐藤 素子	4	2	選択	講義	車載部品メーカーにて、4年間設備の設計・組立調整に従事。あわせて改善活動・品質管理の基礎を学ぶ。現在は燕三条地域企業の技術的サポートを行っている。	製品にも使われる素材の特徴、製造方法、製造における品質の考え方を学び、グループワークで作業指示の大切さを知り、物の流れの基礎を学べる。
国際ボランティア論	川崎 眞理子	4	1	選択	講義	企業通訳翻訳、在宅翻訳	Content & Language Integrated LearningやEnglish for Specific Purposeの授業を行う。
看護関係法規	菅原 京子	4	1	必修	講義	保健師として保健所勤務の実務経験を有する	実務経験を活かし、看護職の思考過程を踏まえて看護関係法規について教授する。
災害看護活動論Ⅱ	広井 貴子	4	1	選択	演習	防災士、応急手当（BLS）普及員の資格を持ち、災害ボランティアの経験や技術を有する。	実務経験を活かして、医療者として生活する地域における災害対策を教育する科目である。
医療安全論	樋本 まゆみ	4	1	選択	講義	病院での医療安全管理者の経験を持つ。	病院での医療安全管理者の経験を含めて、理論と実践を統合し、実践的な教育を行う。
看護実践力演習	広井 貴子、大崎 美奈子	4	1	選択	演習	看護師として病院勤務の実務経験を有する	実務経験を活かして、基本的な診療の補助看護術や看護技術について実務的に教育する科目である。
緩和・ターミナルケア看護論	近藤 ふさえ、広井 貴子、沼野 博子、多田 健一	4	2	選択	講義	看護師として実務経験、教育経験を有する。	成人期、小児での緩和・ターミナルケア実践およびACPの研究経験を授業で紹介する。また、特別講師は在宅での看取り、小児の看取りを実践している内容を紹介する。
認知症ケア論	角山 裕美子、青柳 直樹、多田 健一、袖山 悦子	4	2	選択	講義	看護師として病院勤務の実務経験を有する。	各担当者の実務経験を活かして、認知症ケアにおける看護実践の視点や判断過程を学生が理解できるように教示する。